

イマヌエル教報

2021. 5

1947年7月1日第三種郵便物認可 2021年5月5日（毎月5日発行）

イマヌエル綜合伝道団

No.898

IMMANUEL

聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、地の果てにまで、わたしの証人となります。（使徒 1:8）

都にとどまっていなさい

総務局長 寺村 秀嗣



「見よ。わたしは、わたしの父が約束されたものをあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。」

（ルカの福音書二四章49節）

イースターを越えてペンテコステを迎える月となりました。主の復活のいのちが教会に生きていることを心新たに覚える諸教会に、主のあわれみと祝福が豊かにあるようにと祈り願う思いです。昨年の今頃は最初の緊急事態宣言が発令中で、会堂での礼拝を休止する教会も少なくない状態でしたが、オンラインでの集会参加の環境も徐々に整えられてきました。しかし、一年以上以上経ってもコロナ禍はなかなか収まらず、今も感染防止に注意しながら、さまざま配慮を怠ることのできない状況が変わりはありません。着地点の見えないままこのような状態が続くことに、心身の疲れを覚えている私たちかもしれません。聖霊による主のいやしを切に求めます。

*

主の復活の直後の弟子たちも同じような疲れを覚えていたように思います。弟子たちは主のよみがえりを理解できず、恐れと不安に支配されていました。エルサレムから離れるためにエマオへの途上にいた2人の弟子も同様でした。イエスのからだに墓から消えているのを見、よみがえりのメッセージに触れた女性たちが語ったことばを繰り返す彼らの顔は、希望に満ちてはおらず暗かったとルカは伝えています。主の十字架

と復活はすぐに力の源として実感されたわけではなく、むしろ弟子たちは一連の出来事でとても混乱し、疲れ果ててしまったようです。どんなに絞りだそうとしても弟子たちには前進するための力が出なかったのです。しかし、力の抜けたこの弟子たちにイエスは現れ、上より力を着せられる道を示されます。弟子たちが必死になって力を絞り出す道は終わり、主が約束された聖霊が彼らの力となる時が近づいていました。全く新しいその道は、弟子たちが離れたいと願う都に留まることから始まりました。都に留まるのは決して容易なことではありません。彼らにとって不安と恐れ、非難の声、不信感、失敗の記憶が生々しく残るエルサレムに留まり続けるのはとてもつらいことだったでしょう。都に留まる力も理由も見いだせず、「果たしてここにおいてよいのだろうか」と思い悩む弟子たちを想像します。しかし、イエスは弟子たちに力のないまま、約束を握って都に留まるように命じられました。

*

力を発揮するどころか、かえって力を削がれるような現状に留まることへの疑問は、私たちの心にも今湧き始めているかもしれません。しかし、主のあわれみのまなざしは私たちが留まる場所にも向けられています。だれもが離れたいと思う所に留まることによつてのみ、主が備えてくださる新しい道を見ることがあるのです。振り絞る力を失ったお互いのために祈り、支え合うペンテコステとなりますように。

都にとどまっていなさい……寺村秀嗣……1
第76次年会の報告……2
年会聖会説教要旨、とにキャンフェスティバル……3
海外トピックス、国内教会局、燭台……4
故バルカー先生追憶、女性牧師部、eラーニング……5
広げた翼……6～8
聖宣神学院報……9～11
公報、消息……12

目次

Immanuel

2021年3月25日(木) 会場・中目黒教会

第76次教団年会を開催

今年年会の目ざすところは
主にある一致、そして協力

野田 禎・記

Your raise me up が特別賛美として献げられ、心が天に向けられた。

新教団運営委員が紹介され、新代表の岩上祝仁師によるメッセージはピリピ書一章27節〜2章11節で、タイトルは「One in Christ キリストにあつて一つ」であった。

今困難な時代であるからこそ、より教団が御霊によって一つとなり、同じ方向を信仰をもって前進する事の大切さが三点語られた。

1 一つになるための備え
2 一つになるための内容
3 一つになることの実現

また、神学院で一緒に学ばれ、同労者として歩まれた、故戸谷芳朗師の真実に歩まれた姿が語られ、群が一つとなって、主の福音を伝え栄光が顕れるようにと、励めと励ましが語られた。

午後にはZoom参加による議事会を開催。まず代表から詩篇一六篇1〜2節から「私たちの幸い」にこころを向けられ、召天された戸谷師の追悼の時を持たれた。

1 代表報告
3年にわたって群を導かれた内山勝前代表作成の代表報告が新代表により報告された。①コロナ禍の中、教会の支援の取り組み、②牧師と信徒の信頼関係の構築、③条例改正素案の事例について取り組みを求める提案が出されたので、何らかの委員会を立ち上げたい、

④信仰によって前進する教団を目ざすこと、⑤2月に召天された藤本栄造先生への追憶、⑥これまで

の3年間労された内山勝前代表はじめ退任される教団運営委員に対し謝意が表された。

2 国内教会局
コロナで大変の中、全国で54名が受洗の恵みに与られた。兼牧の教会の戦いが報告された。

3 世界宣教局
ザンビアの富澤・根廻宣教師の引退。台湾の平瀬師は国内に、久保師ご家族(家族6人)が台湾宣教師に。ビザが下りるように報告と祈りの要請があった。

4 教育局
牧師のための生涯学習課、信徒のための信徒教育課、青年部、中高生、教会学校の報告があった。きよめを大切に、全ての世代の牧師、信徒が神の恵みの中で成長していくため、一貫した教育を目指し取り組みられている。

5 信徒局
信徒であり、信徒伝道者である

齋藤純雄局長より、信徒局の働きを理解していただく努力が十分でなかったことを反省し、今後はこれまで以上に多くの方々の意見の収集、周知に努めていきたい。そのためにも①信徒相互のネットワーク構築を願っている、②11月には全国イムヌエル信徒フォーラム開催の予定、等が報告された。

6 神学院
3名が卒業、終了し、在学者は男子正規コース2名、女子聴講生1名に。今年には日本イエス・キリスト教団出身の姉が入学された。理事會制は総会代議員の賛同が得られないため、取り下げたこと、導入に際し、様々な混乱を招いたことへのお詫びがあった。

7 厚生委員会
委員長の里村姉より認知症に関するDVDの紹介と、教会でこのことに関して是非学び会をすることの幸いなお勧めがあった。

8 按手礼
牧師夫人が教職按手について教団として勧めることが報告、案内がされた。

9 宣教研究部
アンケートがなされたこと、6月には「コロナ禍の教会の在り方」についての集まりを持つ予定。

10 人権委員会
『聖なる教会を目ざして〜ハラズメントを起こさないためにはどうしたらよいか』が出版、配付されたことが報告され、今後も信徒・教職ともにハラズメントに対する認識を深めるよう呼びかけられた。

11 WF挨拶 (イムヌエル・ウエスレアン・フェロツシブ)ホリー師、ロビン師・陽子師、アンドレア師、ブランドン師より報告と挨拶があった。

キリストにあつて一つとなり、力強く、きよめと福音伝えて行く思いを持って終了した。



神の御旨によって興された私たちの群。今年の76次年会は、中目黒教会をメイン会場に、聖会はYouTubeのライブで、午後の議事会はZoomを用いて行われた。

午前の聖会前、静かな奏楽に靈調がととのえられていった。全国のイムヌエル・ファミリーが次々とYouTubeライブ聖会に参加してこられた。司会の大兼久芳規師が受難週の賛美「十字架の上に」(福119)をリード。十字架の主の心が向けられ、詩篇一三八篇の交読、心からの感謝を主に捧げた。

引退されるザンビアの富澤・根廻宣教師から感謝の証し、卒業された田中利通師、復職された伊藤明子師(32期)から、また按手礼を受けられる新潟の黒川哲師からはビデオによる挨拶があった。

中目黒の前田めぐみ姉、立原珠己姉の伴奏による「励まされて」

第76次年会 年会聖会 説教要旨 説教者・岩上祝仁代表

ピリピ人への手紙一章27節～二章11節

ONE IN CHRIST

キリストにあつて一つ

川村和臣・記



一年間、コロナ禍での主の助けを覚えて御名を崇めます。ピリピの手紙では、パウロが教会内で孤立していた人々に一致を勧めています。教会にとって大切なのは一致によって内側が強くなることです。コロナ禍で私たちが孤立しがちです。意見の対立による分断も見受けられます。その中で大切なのは、互いにキリストのからだとして一つとなり、建て上げられ、信仰によって歩調を合わせることで、三つのことに心を留めます。

▼一つになるための備え(1節) パウロは一つとなるための神の備えを列挙しています。①励まし。主イエスが伴っていて、知恵と導きを与え、励ましてくださいます。②愛の慰め。私たちの利己的な思いなどが十字架の愛によって癒され、いのちによる回復がもたらされるのが真の慰めです。③御霊の交わり。聖霊が私たちの間に入られ様々な交わりを形造ってくださるのです。④愛情とあわれみ。上記の三つにより、神の愛が私たちの内から人々に流れ出るのです。「あるなら」とあり、大切なのはそれを持つていることです。神には、私たちを一つとする備えがあり、願う者には与えられるのです。

▼一つになることの内容(2節) 一つになることは、ゴールがあります。一致は目的ではなく、手段です。信仰と祈りと神の恵みにより、お互いが神の愛を受け、主イエスによって互いが一つとなるのです。パウロはその時①同じ思いになる、と記しています。自分の感覚でなく、信仰による決断を伴います。②同じ愛の心を持つ。これは聖霊により注がれた神の愛。

この愛で同じ向きに進むのです③心を合わせる。この事は簡単ではありません。主を見上げ、互いに神の交響曲を作り上げるのです。大切なのはその「思い」です。

▼一つになることの実現(5節) それは、キリストの心を自分の心とすることです。現代は感性の時代になりつつあります。ですが聖書にあるように、私たちは主の愛と恵みを受け、みこころを信じて祈り、信仰的な決断をするという「思い」を持ちたいのです。それは自分だけでなく、他の人も顧みることです。主イエスは神のあり方を捨てるといふ決断をし、十字架を担われました。その思いは生涯を貫いていました。それは①人を救いたい②そのために神のみこころを信じ、従う③自分を捨て、献げること、という思いでした。この主の愛に応答するのが私たちの信仰です。神はそれを実現してください。

インマヌエルの群れが今日あるのは、主を愛し、真実に生き抜いて来られた信徒や先生方のゆえです。その背後に、群れを起し、群れを愛されている主イエスがおります。主は、今の私たちにも使命をくださっています。その主イエスがご自分の思いを受け取ってくれないか、と願っておられるのです。「主の愛を与え、主に倣う者にしてください」「群れを一つとし、主のために生きる者としてください」と信じて、実現を祈る者でありましょう。

今回はオンラインならではの内容が盛り込まれ、自己紹介では、自分の宝物を紹介し合いましたが、これもそれぞれ自宅から参加するからこそ可能だったと思います。またお互いのプライベートも少し垣間見えたりと、普段の自己紹介よりもぐっと親密さを感じられたのではないのでしょうか。

「とにキャン」フェスティバル開催 オンラインによるフェスでした 絆を強める貴重な機会に



細田恒太郎

昨年はコロナのために開催が中止された中高生のとにキャンフェスティバル。今年も、オンラインZoomを用いて開催され、東北から九州まで全国からのみならず、フィリピンからも参加者が加わり、学生34名、スタッフ・牧師16名、合計50名で、幸いな集会が持たれました。

ラムで、自由に旅行もできない昨今ですが、何となくZoomのメンバーと共に修学旅行でもしたような気分になることができました。終盤には、平瀬聡樹先生より、第一コリント二章9節、箴言一七章17節より「大切な絆」というテーマでメッセージが語られました。コロナという目に見えない敵との戦いの中で、同じように目では見ることができないが、友との絆、神様との絆のすばらしさに心を向け、環境が大きく変る新しい年度のスタートに備えるようにと語って頂きました。

今回はオンラインならではの内容が盛り込まれ、自己紹介では、自分の宝物を紹介し合いましたが、これもそれぞれ自宅から参加するからこそ可能だったと思います。またお互いのプライベートも少し垣間見えたりと、普段の自己紹介よりもぐっと親密さを感じられたのではないのでしょうか。

昨年よりオンラインでの集会が続いています。当初は、通常の集会と比べて、モニターごしの対面、スピーカーを通しての音声というところで、目や耳が疲れやすい、一緒に声を合わせての賛美ができない、大人数だと自由な会話ができないなど、コロナ禍における一時的な代替というイメージがありました。しかし、使い出してみると、オンラインだからこそできる事もたくさんあり、通常の集会の一時的な代替というよりも、相互に補完的な代物で、コロナ後も大きく用いられていく分野であることは疑いようがありません。特に場所(距離)、時間、経済的制約から解放されているという点が大きいです。

また3人の宣教師には、太陽の塔(大阪)、金沢駅(石川)、関門海峡(山口)から、それぞれライブ中継と観光案内をして頂き、現地にまつわる興味深いクイズを出して頂きました。これもまた、オンラインだからこそ可能なプログラムで、自由な旅行もできない昨今ですが、何となくZoomのメンバーと共に修学旅行でもしたような気分になることができました。

今後の青少年の育成について考える上でも実りの多い集会だったように思います。引き続き中高課のために祈りください。

国内教会局から

コロナ禍にある教会
ペンテコステ前夜に



今月第四聖日はペンテコステです。ペンテコステ前夜に目を留めると、当時はローマ帝国の支配下にあり、宗教的には祭司長、律法学者たちが権威を振るい、表面的に見れば、主の弟子たちは何もできず、ただ二階

座敷に留められている無力な集団にすぎません。しかし彼らは聖霊が注がれると、主の約束を信じ、心をつにして熱心に祈る集団でした。そしてついに聖霊が注がれて教会が誕生し、福音が全世界へと力強く宣べ伝えられて行きました。現在の教会の姿はペンテコステ前夜に似ているかも知れません。目に見えない

コロナウイルスの前に無力なように見えます。しかし私たちが心を合わせて主に祈り、さまざまな問題に真剣に取り組んでいくなら、主は必ず応えて、聖霊による力と知恵を与えてくださり、以前にも増して福音の働きが力強く前進する時が来ると信じます。今できること、なすべきことに全力を注ぎましょう。(阪下謙)

■米国で「教会に属する人」の割合、初めて50%を下回る
米ギヤラップ社が3月28日発表した世論調査では、アメリカ人で教会、シナゴグ、モスクなど宗教組織に属するいわゆる「教会員」の割合は減少が続き、2018年は50%と半々になり、2020年には47%とついに半数を切った。同社が1937年に調査を開始した時は73%で、その後60年間は70%近くで推移していたが、21世紀に入った頃から減少の一途だった。調査は、3年ごとに米国の成人6千人以上のデータを用いて、様々なグループごとに推移を分析している。自分の「宗教的な選択」を明らかにしない人が増え、1998〜2000年の調査では8%に過ぎなかった比率が、2008〜2010年には21%に増加。「教会員」割合減少の一部は、このような傾向と関係していると思われる。また「宗教的な選択」を明らかにしていても、正式

だが、80年代序盤までに生まれた世代では「教会員」が50%、90年代中盤までに生まれたミレニアル世代が同36%となっている。ミレニアル世代は「特定の宗教に所属している」と認識している人でも、



海外トピックス

な「教会員」となっていない人が増加している可能性もある。世間の違いも大きく、1946年以前に生まれた世代は66%が「教会員」で、64年までに生まれたベビーブーマー世代も58%が「教会員」

「教会員」になる人の割合は大きく減少している。

■マレーシア高裁、キリスト教徒も「アラア」を使用すると判断
マレーシアの首都クアラルンプール高等裁判所は、キリスト教徒が神を指して「アラア」(アッラー)という言葉を使うことを禁止する政策を覆した。英メディアBBCによると、数十年にわたる訴訟の最新の結論である。マレーシアでは、人口の約3分の2をイスラム教徒が占めているが、大規模なキリスト教共同体(コミュニティ)も存在している。今回の訴訟は、「アラア」が含まれているとして資料を押収されたキリスト教徒が起こしたものだ。

マレーシア憲法は、宗教の自由を保証している。しかし近年、宗教的な緊張が高まり、非イスラム教徒が「アラア」を使用することが、しばしば緊張や暴力の原因となっている。(平瀬聡樹)



セラの時を極める

「セラ」という表記が、詩篇などにときどき登場します。それは音楽記号の意味があり、「フェルマータ」「休止」「転調」などの意味が含まれているようです(聖宣神学院ホームページ参照)。いざにせよ、しばし立ち止まって深く思いを巡らし、次のステップに備えるように思われます。▼「フェルマータ」とはイタリア語で「停止」を意味し、イタリアではバス停の標識に「フェルマータ」と表示されているそうです。走ってきた路線バスが一旦停止し、そして再び動き出すのです。ちなみにフェルマータ記号は一説に、日没に由来したデザインとも言われているとのこと。一日を締めくくるとき、フェルマータ記号に思いを巡らすのも幸いです。▼容易でない複雑な仕事に疲れ人間関係に傷ついた時、主の備えられた休止標識に従います。十字架の贖いの恵みに深く沈潜し、復活の主と信仰によってしっかりと結びつき、執成してくださるお方の臨在(御顔)の中に身を浸します。そのバス停名は「フェルマータ温泉・別称「セラの湯」です。▼この名湯の効用は多岐にわたります。「主

は愛する者に眠りを与えてくださいます。(詩篇一二七・2)。「世の喧騒から逃れる静けさがあります(詩篇六五・1〜4)」。私たちも聖書の中にある名湯を探し出し、その効能にあずかりたいものです。「喜びの湯」(1ペテロ1・8)、「癒しの湯」(イザヤ四六・4)、「活力の湯」(ローマ八・37)など無数にあります。▼「汝らしづまりて我の神たるを知れ。」(詩篇四六・10)、「すべての肉なる者よ、主の前で静まれ。」(ゼカリヤ二・13)とは、静まることのできない私たちに語られる神さまからの「休止指示記号」です。「勢いよく走っている車をピタッと静止させることのできる人はよほど優れたスキルを持っている人だ。」とは、神学院の合同祈祷会で語られた初代院長・葛田二雄先生のことばでした。▼一見すると静止しているように見えるコマが、実はすごい速さで回転しながら立ち続けていることを私たちは知っています。激しく暴れるコマはその回転力がたやすく削がれてしまいません。私たちにあって「セラの時」はなくてはならないものなのです。(ルカ一〇・42) (国光勝美)

追憶

故リチャード・バルカー先生

2021年3月3日ご召天(享年92)



リチャード・W・バルカー先生は、1928年11月1日にミシガン州デトロイトで誕生されました。高校を卒業後、ケンタッキー・マウンテン・バイブル・カレッジ、テイラー大学に学び、マリオン(現在のインディアナ・ウエスレアン)大学を卒業され、その後、アズベリー神学大学で修士号を得られました。但在学中にバーバラ先生とお会いになり、家庭を結ばれました。その後さらにギャレット神学大学院で2年間学ばれました。

バルカー師ご夫妻は1964年、東京オリピック開催の年にワールド・ゴスペル・ミッション(EGM)の宣教師として来日され、1978年まで、3期にわたるご奉仕を続けられました。お名前は「バーカー」と発音するのですが、日本での響きを考慮して「バ

ルカー」がよい、というのは初代総理の提案でした。

その後米国合同メソジスト教会の西ミシガン教区で3つの教会の牧会をされた後、再びWGMの宣教師としてアズベリー学生センターで11年間奉仕され、その後1993年からウエスレアンの宣教師として日本で奉仕されました。この時期には『ひむなる』発行にも協力して下さり、最後の編集作業はバルカー師の住んでおられたヘルンフォート・ロッジの2階で、1週間缶詰状態で行われました。

またウエスレー・ブック・クラブの働きを通してIGMなどの数々のウエスレアンの良書の紹介と発行にも尽力されました。米国内ではウイルモア・フリー・メソジスト教会に属されていましたが、ウイルモア・ブック・クラブの会員でもありました。

健康の弱さを覚えておられましたが、今年3月初め脳出血のために再入院され、3月3日、レキシントン・バプテスト病院で92年の地上生涯を終えて天に凱旋されました。5人のお子さんはそれぞれ家庭を持たれ、12人の孫、お一人の曾孫がおられます。(葛田直毅)

健康の弱さを覚えておられましたが、今年3月初め脳出血のために再入院され、3月3日、レキシントン・バプテスト病院で92年の地上生涯を終えて天に凱旋されました。5人のお子さんはそれぞれ家庭を持たれ、12人の孫、お一人の曾孫がおられます。(葛田直毅)

女性牧師部研修会開催

オンラインで行います
コロナ禍における
女性牧師のセルフケア

女性牧師部長 古川恵子

今次総会で女性牧師部長を拝命いたしました古川です。よろしくお願いたします。

経験豊かな先生方に支えられながら、前部長、前女性牧師部のヴィジョンを引き継ぎ、女性の先生方が抱えておられる、複雑で多岐にわたるご奉仕、課題に寄り添い、祈り合う女性牧師部を目指します。

早速ですが、昨年より計画していましたが、研修会の案内をいたします。なお、この研修会は教育局との共催です。

日時 6月14日(月) 午後2時~4時 (Zoomによるオンライン開催)

内容 II 「コロナ禍における女性牧師のセルフケア」

登壇 II 古川恵子
「教職試験へのご案内」
登壇 II 小川宣嗣師
申し込み先
kenshu2021@immanuel.or.jp
締め切りは5月15日です。(ご希望があれば、男性の先生も参加可です) たくさんのお申し込みをお待ちしています。

復職のご挨拶

よろしくお願
いたします

始良教会 伊藤明子

「私たちは見えるものによらず信仰によって歩んでいます。」
(II コリント五章7節)

私は二十四年前に、郷里である岩手県北上市に戻り、開拓伝道をしておりました。

それは私が救いに与った時から、長年の祈りの中で導かれた決断によるものでした。

私はその中で、教団在職中に教えて頂いた線に沿った形で伝道してきたつもりです。具体的には、みことばを信じる祈りを基本に、伝道をする。また罪からの全き救いの経験に与り、それを生活の中で確かなものにしていくこと。そしてその聖く歩む生活の中で、聖霊との関係を確立し、聖霊によって注がれる神の愛に生きる者となること、等を勧めてきました。

今後再び教団でご奉仕致しますので、お祈りに覚えて頂きますと幸いです。



eラーニングのご案内です!

ペトロの手紙一を読む

石田 学

動画とテキストコンテンツで
わかりやすく 新しい視点で

世を留る旅するの民への
寄言葉

石田学 (小山ナザレン教会牧師)
日本ナザレン神学校教授
(新約学、教会史、説教学、宣教学他)
日本キリスト教協議会教育部長
日本聖書協会理事

「ペトロの手紙一を読む」講師はナザレン教団理事長・神学校校長ご経験の石田学先生。

本講座の基本コンセプトは、日本のキリスト者にこの手紙が何を語り、どのように信仰を励ますかを読み解くこと。

マイノリティーとして困難と敵意に直面しつつ信仰生活を送るこの手紙の読者。日本のキリスト者には共通点が多く、特別な意味を感じます。

Noteのマガジン機能を用いたオンライン講座、進め方はご自分のペースで大丈夫。終了後も繰り返し何度でも視聴・閲覧できるのも魅力。講師への質問欄も用意。牧師・神学生・信徒伝道者は補助有。信徒の方にもお勧めです。

巻頭言

主のために



世界宣教局長
田辺 寿雄

「すると、イエスは言われた。『彼女を、するまゝにさせておきなさい。なぜ困らせるのですか。わたしのために、良いことをしてくれたいのです。彼女は、自分にできる



広げた翼

Immanuel
His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

<http://www.immanuel.or.jp/world/>

ことをしたのです。』
* (マルコ一四章6、9節)

2000年から2011年まで、延べにして12年間、ケニアへの宣教師として奉仕しましたが、働きを締めくくって帰国する時に、自分がケニアにきた意味はあったのだろうかという思いが心をよぎりました。帰国してしばらく経ち、祈りと思い巡らしの中で、冒頭のみことばが心に迫ってきました。キリストが、「お前もわたしのためにしてくれたいではないか。」「自分でできることをしたではないか。」そう言って慰めてくださったように思えて、かたじけない気持ちで涙が溢れて止まりませんでした。何のために？ 無駄だったので

は？ 高価なナルドの油が入った壺を割り、それをイエスの頭に注いだ女性は弟子たちからそう批判されました。もっと効果的なやり方があったらどうと。上手に、効果的にできるに越したことはないでしょう。しかし、キリストにとってそれ以上に大事なものは、私たちの心の動機だということを忘れてたくありません。

そもそも伝道や宣教は、上手くいかないことの連続で、どれだけやっても不十分、そして無駄（と感じてしまうよう）なことなんだろうと思えます。そういう意味ではキリストの十字架こそが、歴史上最大の無駄なことに見えるかもしれません。そこまでしても、いまだに人類の多くは信じていないわけですから。

それでもキリストは「私たちのために」死んでくださいました。無駄と言われるかもしれないことを十分承知の上です。

上手に、的確に、効果的に、計画的に、ということを目指さないわけではありませんが、「主のために」という純粋な心はやっぱり失いたくありません。

主のために献金します。主のために献身します。主のために奉仕します。宣教師も、宣教師を支える者も、主への溢れるような愛をもって宣教の働きに加わります。「わたしのためにしてくれたい」と言ってもらえるように。



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子*2021年4月10日

「なんと美しいことか、よい知らせを伝える人たちの足は」
(ローマ一〇章15節)

今月でフィリピン宣教第三期6年目の年が始まりました。条例では一期は4年ですが、コロナ禍の帰国巡回延期で5年目を迎え、そして6年目に入り最長記録を更新中です。

今月中旬に、政府が警戒レベルを引き下げたところ、新感染者数が増加し始め、今月下旬には一日平均5千人から1万2千人の新感染者数が出ている状況です。私たちが住む町内でも感染者が出て、学校の目の前にはバリケードが設置され隔離処置がとられています。常喜が教えているマニラ在住の学生の家族からも2名の感染者が出てしまい、本人も体調が優れずクラスを休みました。ワクチン接種は今のところ人口の0.05パーセント、5万6百人ほどに行き渡りました。学校も、今年は対面の卒業式やクラス再開を期待して

いましたが、現在のところ政府はまだ禁止している状態です。五月の卒業式もオンライン形式で執り行い、準備することとなりました。そんな中、オンラインではありましたが久しぶりに夫婦でインマヌエルの年会に出席することができたのは感謝でした。

2年に一度の宣教師ビザの更新時期に差し掛かり、先月より書類を揃え始め代理人を通して移民局に提出することができました。昨年からの移民局内で何度もクラスターが発生しているため、その度に出動人数が削減され、全ての手続きに時間がかかっているのとことです。更新手続きが問題なく、速やかに済みますようにお祈りください。

夫婦でそれぞれチャペルでの説教の奉仕がありました。今月のテーマは「地よ、主の声を聞け」で、常喜は第一列王記一七章17、24節よりエリヤの声と十字架に架けられたイエスの声、そして復活について思い巡らし、恭子はローマ人への手紙一〇章15節より快適なところから飛び出して福音を伝えることの大切さについて語りました。説教を作るだけでなく、ビデオを作り、フェイスブックのグループページに投稿しなくてはならず、一時間でも二時間も増えましたが、コロナ禍にある学生たちが霊的、心理的にもメッセージを通して励まされることを祈ってやみません。



TAIWAN

台湾

平瀬義樹・光世*2021年4月13日

信仰をもって受け取り、前を向いて進んで行こうという機運が芽生え、みなぎってきていることです。大きな転機を迎える台中の教会、台南日本語礼拝の上に、主のさるなるお導きと助けが確かにありますように、引き続きお祈りとご支援を宜しくお願いします。

◆台湾の働きを次の器に……

宣教師が国外で働きをしようとするとき、必ずその国の居留ビザ(宣教師ビザ)が必要となります。国ごとにそのシステムや申請書類などが大きく異なり、昨今の書類偽証の問題などもあり、年々、審査が厳格化されているというのが実情です。そのような中、後任の久保先生ご一家のビザ申請が進められています。この報告を書いている間にも、目まぐるしく事態が推移し、何度となく、その内容を修正、加筆、変更することとなっています。現在(4月9日)、台湾の外交事務所(弁事處)に書類の正式申請をし、受理されました。ビザ発給を祈りつつ、待っている段階です。一日も早くビザが発給され、台湾赴任に向けての具体的な諸準備を進めて行くことができますように、引き続きお祈りを宜しくお願い致します。

◆台湾の働きをゆだねて

3月7日に台中教会で、14日は台南日本語礼拝で、送別礼拝と送別の愛餐が守られました。礼拝では、冒頭の聖句を心に留めつつ、神さまを信じ、愛している私たちに、神様がどのようになさるのかということ、23年の台湾での実生活の証しを交えてみことは取り次がれました。台南では、スライド形式の写真を取り返りつつ、いろいろな事どもがあった中に、確かに神さまが共におられ、すべてを働かせて益として下さったと、主にすべての栄光をお返しし、これからの歩みを主の御手にゆだねるひと時でした。特に、印象に強く残ったのは、台中でも、台南でも、宣教師・牧師の交代を

ビザ発給後も、コロナの影響で、出国前のPCR検査や入国後の諸検査、14日の隔離措置、7日の待機期間などを経なければ、台湾での生活が始まりません。先日、妻も体験しましたが、14日の隔離措置の制限は、予想以上に長く感じ

られるもののように、精神的なストレス、疲労がたまるものです。すべての事の上に、主の確かなお導きとみ守りがありますように、お祈りが必要とされています。

光世は、3月16日に帰国し、14日の待機措置を経て、日本の生活が始まりました。当初は夫婦共に帰国の見込みでしたが、コロナの影響で、台湾への外国人受け入れの厳格化のため、すべてのビザ申請が一時停止していたこともあり(現在はすべて再開)、義樹は、単身でなお台湾にとどまり、台中と台南の働きを継続しつつ、後任者の赴任を待つこととなりました。光世師帰国後、教会の姉妹方を中心にして、不在の欠けを自発的に補って下さっています。主の御心がなされますように、祈りつつ待機している新宣教師家族のため、続けてお祈りとご支援を頂けると、感謝です。



CAMBODIA

カンボジア

葛田緑乃*2021年3月6日

「わたしを探さなかつた者たちにわたしは見出され、わたしを尋ねなかつた者たちに自分を現した。…わたしは終日、手を差し伸べた。不従順で反抗する民にたいして。」(ローマ一〇章20、21節)

先月、ヴァンディ師のお父様が聖書を一緒に読んでおられる写真を載せました。あの写真の場面に至るまでにはかれこれ30年余の月日が流れております。そして今日2つの写真はあの聖書を読む時よりも更に2、3か月前の主の御業です。実に宣教は福音の根本である愛の神の啓示であり、そこには十字架の犠牲を伴い、信仰の決断に至る迄の時を待つ長期の忍耐を要する場合が多い事は国内外に関わらず同じです。が、一つだけ違う事は異なった言語と異なる習慣、思考回路の違い等が大きな壁として立ちはだかる中での働きであることです。バンディー師のご両親への「神の愛」の啓示も例外ではなく、乏しい経済の中から差

し延ばされた息子の手は釘の跡こそ見えなくても、神の愛の大きな証しの印でした。プノンペンで正しい白内手術をと貧しい生活費を工面して招き寄せての、滞在中の親子の会話は長年固く閉ざされていたお父さんの岩のような心の隙間から神様の愛の光が差し込むきっかけとなる数日、今は機会ある毎に息子と一緒に聖書を読む所まで心が開かれました。主の御霊による御業と御言による生まれ変わりを与えられるまでお祈りの力で後押しをして下さる諸教会の祈り手の御働きにより、罪が分り悔い改めに導かれる日を待ち望んでおります。

コロナ禍で集会禁止令は都市と諸地方に点在するKCCの教会で戦う伝道者の霊的力にも影響を与えておりますか感じつつ、祈るのみです。自立教会の道を選んで出発してから既に11年が過ぎましたが、前進の時も停滞の時も不変の信仰の戦いが見られますようにお祈り頂けましたら感謝です。





KENYA

ケニア・テヌウェク

葛田就子*2021年4月9日

周辺の道路工事でインターネットのケーブルが切断、プログラムの途中での不具合等、インターネットや電子カルテに問題の生じた三月前半でした。内線電話の不調も続いています。代案の携帯電話回線も、入金システムのエラーが出て、数日使用できませんでした。東日本大震災から10年、当時イムマヌエルを通して加わったクラッシュジャパンの振り返りのZoomも、そんなわけで繋がったと思ったら数時間繋がらない状態でしたが、途中で少し加わることで感謝でした。この調子で年会はどうかと思いましたが、当日はほぼ問題なく繋がることのでき感謝でした。新型ウイルス関係で郵送制限が再び厳しくなり、各教会から「包帯等準備したを送付できない」とお知らせを頂いております。日本も大変な中でも覚えてくださっていることにまず感謝を申し上げます。ちょうど良い時に道が開かれることを臨み

つつ楽しみにしております。以前送って頂いた蓄えから、最近、依頼を受けて病院の台所に40枚のタオルを送りました。スタッフの感謝と共に写真を添付致します。新型コロナウイルスの状況は、小康状態から一転、感染率が1月の2%から22%位になっていきます。ナイロビ等特に危険度の高い5地域をゾーンと名付け区別し封鎖、集会の制限や夜間外出禁止の時間帯等が他の地域より厳しくなりました。ゾーン以外の制限も前より厳しくなりました。短期ボランティア等の出入国は、特別パスでまだ可能です。

ケニアにも新型コロナウイルスのワクチンが輸入され、私も第一回目の接種を院内で受けられて感謝です。スマホの普及で、「副反応が怖い」等々情報が飛び交っていました。到着後から主任などが率先して受けていましたが出足が鈍かったようで、病院の集客室を2日間接種所にして、仕事の合間に登録・接種できるよう工夫され、また医長自ら院内を回って「今なら並ばずに済みますよ」と声をかけたりした結果、割り当て分はすべて消化、600人近くが接種を受けられたようです。

ケニアで度々プロキユアメントという言葉を目にしました。耳慣れない言葉でしたが、物資調達等を意味するそうです。営繕、文具、薬品、食材、洗剤、布材料、医療機器、医療資材等々、病院は色々な所に発注しています。ある

程度まとまった仕組みはありませんが、手術でしか使わないようなものは手術室主任・副主任の仕事で、結構な時間を取られています。集中すれば数分で終わる仕事も、途中で別の緊急が入って「どこまでやっていた？」と混乱したり、中断している間に回線が切られて最初からやり直したり。コンピュータを介した方法が採用された時に、入力基準がはっきりしないまま、色んな部署から似たような物が別の名前登録されたり、入力中のエラーで未完成の入力があつたり、色々ごちゃごちゃでした。しかもこれらの事務処理を早くしないと手術室で使った物が会計に反映されず病院が無収入になるという圧迫もありました。数か月前から事務の人を回してももうようになりだいが楽にはなりませんが、専任でなく兼任なのでまだ不具合があります。

そんな中、プロキユアメント・ディレクターという新しい役職の方が、初就任されました。今は引き継ぎ等で新たな仕事が増えていますが「これを過ぎれば」もっと違う方面に時間と労力を使えるのでは、色々ごちゃごちゃが整理されるのでは、と期待しています。数年前公聴会のようなものがあり、医師や看護師が、経理や事務の仕事に時間を取られている、という訴えが出ていました。今ようやく見える形になってきているようで感謝です。

ケニア(葛田就子)



会計報告3月分

宣教献金 一、一九一、四五〇円
月平均 一、九八七、八一〇円

お祈りの課題

台湾(平瀬)

◆久保先生ご一家のピザが一日も早く発給され、台湾に赴任できますように。久保先生ご一家のため◆台中教会と台南日本語礼拝の働きが主の栄光を現わすものとなりますように

◆台湾は深刻な水不足です。畜産、農作物にも大きな影響が出ています。雨期に必要な水量が与えられるように。先週より市内の断水措置(1週間毎で2日断水、全日出水制限)実施中

◆緊迫した国際情勢の中、台湾の政治と経済、治安が保たれ続けますように

ケニア(葛田就子)

◆第一回ワクチン接種が終了した感謝
◆ウイルス関連の様々な長期スト

レスの中にある患者さん、ご家族スタッフのため
◆麻酔科、整形外科を始めとする働き人(ルカー10章2節)がおこされるように

香港(鹿島)

◆ペンテコステへ進む中、出されている集会人数制限が速やかに緩和されますように
◆経済的な戦いの中を通されている教会員方の上に豊かな助けが与えられますように

◆牧師の健康が支えられて、近隣への次のステップが導かれますように

カンボジア(葛田緑乃)

◆4月半ばで御主人の伝道活動に参加するべく仕事を一時中止されたテス夫人に主の御心の職場が備えられるように

◆KCCの全伝道者の働きに御霊の力強い働きと結実が与えられるようお祈り下さい

◆コロナ鎖国が速やかに解かれ宣教の働きを進めて行けるよう、又、狭窄症の改善の為、引き続き御祈りください。

フィリピン(豊田)

◆学期も締め繰りに差し掛かり、卒業(5月)を控えた学生たち、在校生たちの学びと訓練のため
◆ウエスレアン教会の霊的、経済的な必要のため

◆事故、事件、怪我、過ち、災害、病氣、疫病から家族が守られますように。常喜の右目網膜の回復のために。宣教師ピザの更新手続きのため

聖宣神学院報



Immanuel Bible Training College

望み得ない時に望みを

院長 ● 林 正弘

「彼は望み得ない時に望みを抱いて信じ……」(ローマ四・18)

神学院では新しい学年度が始まりました。昨年度はほとんどすべての授業がオンラインで行われましたが、今年度は、教室に集まってスタートした授業がいくつかありました。人数が少ないので密にならない、というのは喜ばしいことではありませんが、毎週対面でも決まったわけでもありません。しかし、改めて教室とともに学ぶ幸いを覚えます。困難な状況は続きますが、神学生方の真剣なまなざしに教師も励まされます。私たちは、目に見えるものに左

右されます。そしてその見えるところが自分の願いとかけ離れているとき、失望してしまうことがしばしばです。しかし、困難な状況にあっても目を輝かせて目の前のことに真剣に取り組んで行く道があります。その違いをもたらすのが信仰です。

アブラハムは、多くの子孫が与えられると神さまから約束されましたが、その実現のための最初の一人が与えられませんでした。彼は解決の道を模索しましたが、答えは出ませんでした。望み得ない状態となっていました。彼はその現実を認めてもその信仰は弱まり

ませんでした。かえって信仰が強められた、と記されています。アブラハムは、信仰によって望みを持つことができました。神さまに期待する希望があったからこそ信じていることができたともいえます。私たちが、今置かれている状況を考えたとき、普通に考えたら望み得ないことだらけかもしれないかもしれません。神学院も、コロナ禍が続くなかで、しかも少ない人数でスタートしたこと、明るい展望はむずかしいかもしれません。見えるところでは確かにそうです。私たち一人ひとりが歩みを進めていくときも、望みなど持つことができないという厳しい現実と直面します。しかし、私たちはアブラハムの信仰に倣って、望みを抱いて進む者でありたいと思います。



ソーシャルディスタンスをしっかりと取っての昼食

神学エッセー 旧約聖書の視点 3 新約的視点～旧約を照らす



佐藤信行

若い時を振り返って思い出すことと聞かれて、各々が思い浮かべる情景や経験は、各人の生涯の中でも意外と変わるものです。経験した時には気づいていなかった意味や価値を後になって気づくことがあるからです。一方、旧約聖書の視点においては、後代の新約聖書という神さまからのさらなる光

|| 啓示に照らされて、先の時代には捉えきれなかった気づきを与えられる側面があります。それが「新約的視点」と言えるものです。主の十字架や復活の姿、各自の信仰経験や生活の勧めと、旧約の歴史や人物、事物が照らし合われるなど、おそらく皆さんが教会の集会で旧約聖書からの説教を聞く際には、どこかでこの視点があることに気づかれるでしょう。

但し、この視点は十分注意して理解しなければならぬ面があります。神学院での学びでも、今後メッセージを語る機会が多くなるため、どうしてもすぐに新約の視点から旧約をどう見るかを考えた

これらを十分注意した上で、「新約的視点」でまず重要なのは、新約の記者たちが旧約を引用している箇所です。現代の文脈理解から見ると特殊な面もありますが、靈感された聖書の記述として優先されるものです。もう一つ有名なのは新約の教えのひな型として旧約を見る見方です。旧約の事物(予型)を新約の事物(対型)の影、予表、前兆として解釈するものです。今回この紙面では扱いきれません。今回この紙面では扱いきれないように、旧約の記述と新約の記述の間に形式や思想の自然な類似があるか、旧約の予型は秘義ではなく、あくまでも新約に明示された真理の例示であるかなどを検証しつつ、適用することが必要です。

今回、神学院で担当した旧約概論の内容を踏まえて三回分を記しましたが、最初に述べたように、旧約聖書と現代の私たちとは大きな時代的隔たりがありますから、その「距離感」を正しく弁えながら、お互いより生きた旧約理解が形成されて行けたら感謝です。

◆神学院に入学を許され

主の助けと守り

正規コース 森 徳子

皆さまの温かい歓迎とお祈り、そしてサポートを心から感謝致します。他教団からの入学ですが、背後にあって祈り、支えてくださっていることは、私にとって励みであり、また身の引き締まる思いです。

神学院に入学してまだ間もないですが、感じることは、主の助けと守りがあちらこちらにある、ということだと思います。私の中にある恐れや不安に対して、主が必要な助けをお送りくださいました。入学式の際には、以前に教えてくださった恩師が、代表として来てくださいました。思いもかけない形で再開に、主のなさることの驚きを感じました。

また、発表された実習教会は、以前私が家を飛び出し、数か月放浪していた際に、両親が私を探して東京に出てきて、ここで落ち合わないか、と誘ってくれた教会でした。当時は両親のメールを無視してしまいましたが、悲しみに寄り添ってくださるイムマヌエルの主は、時を経て、不思議な導きで私をこの教会に連れ出してくださいました。



初めて実習教会に着いた時には、「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。」(イザヤ書四一・10)と、私に与えてくださった今年のみことばを再び与えて、励ましてくださいました。そして、私たち神学生が学びに集中できるようにと、尊いご奉仕をもって、またお献げのものをもってサポートくださる人を起こしてください、お遣わしくくださることも本当に感謝です。神さまは人を用いられる、このことばどおり、主に遣わされた皆さまによって、また、支えられています。本当にありがとうございます。そして、このコロナ禍というイナスな状況さへも主は用いられ、私が気負うことのないように守り導いてくださっています。

神学院での学びと生活によって、私の思考や内面が整えられ、主を証しし、伝道・牧会するのに必要なものが与えられることを感謝します。授業が始まり、課題が次々と与えられる中で、少したじたじとしていますが、まずは主に祈り、先延ばしにするのではなく、少しずつでも日々の積み重ねを大切にしたいと願っています。どうか続いてお祈りくださいますよう、宜しくお願い致します。

◆日々の生活の中で

人と人との間に

聴講生 石川牧子

3月、春の風と共にうれしい便りが家族寮へ。出産時に退職した保育園で受け持った親御さんからの小学校卒業の知らせ。救われた10年前、不思議な導きで、保育園で心身、言葉、関係等で難しさを感じておられる子どもの生活・精神面のサポートをする事に就きました。その子のご両親は公立の小学校と支援学校との選択に切実に悩まれた上で公立小学校に送りました。その子は在園中は自分と周りとの違いを敏感に感じ、周りに対して心を閉ざしていました。

担当してしばらくはサポートどころかコミュニケーションすら困難

でした。保育の経験も心理の知識もない自分になぜこの仕事を主はお与えになったのかと問う日々。もう自分には何もできないとお手上げになり、主に祈るほか無くなりました。

その時光が差したので。その子がパニックになって大泣きした時のこと。私もどうしていいかわからず、長い時間無力さの中でその子を抱き締めながら黙って座り込み、ただその子に思いを向けて祈っていると「……僕はみんなと違う」と口を開いたのです。その子の心の声。3歳の子どもの苦しみでした。私は人の気持ちを理解できるような者ではありません。そこに居ることしかできなかった。でもその子と間にイエス様がいました。イエス様はその子の気持ちを含めてご存知で、その子と共にいて下さり、私と共にいて下さいました。この仕事はイエス様と共にするものなんだと教えられ、それから3年間、その子とご家庭と心を通わせ、その子にとって生きやすい方法を主と共に考えました。春の便りが大切なことを思い起こさせてくれました。人と人との間にイエス様がおられる恵みを覚え、新年度の学びをスタートさせて頂きたく思っております。

「あなたの行く道全てにおいて、主を知れ。」(箴言三・6)



後援会コーナー

新学期を迎えて
在校生のために
お祈りください

BTC 後援会 池田光重

新年度が始まりました。今年も神学院で学ぶ方々は他教団出身の神学生4名となりましたが、主のみまもりと祝福の内に良き学びが進みますようにお祈りください。
・在校生 石川順兄 (東京フリー)・メソジスト桜ヶ丘教会・正規) 石川牧子姉 (桜ヶ丘教会・聴講) 林真光兄 (シオン・キリスト教団 蒲田教会・正規) 森徳子姉 (日本イエスキリスト教団小松島栄光教会・正規)
・新たな教師陣のご霊肉が守られますように。
・コロナ禍の中で対面授業、またZoomによるオンライン授業がそれぞれ主のみ助によって充実したものとありますように。
・週2回の食堂での給食も事故なく守られますように。
・神学院経済の必要が満たされますように。
・神学院の広い敷地をメンテナンスして下さっている先生方、信徒の皆様のために。
・後援会が神学院の働きのために自立した活動が継続できますように。
・後援会世話人を出されていな教会は推薦をお願いいたします。

いま神学院では……
久し振りの対面授業
 教師●矢木良雄



4月第一週から授業が始まりました。昨年は緊急事態宣言の発出もあって対面授業は全滅。すべてオンラインで行いました。依然として変異種による感染拡大の中で油断できない状況ではありますが、感染予防に関する知見も増えて、考え得るすべての対策をとりながら対面授業を再開しました。

やはり顔を合わせてする授業は良いですね。思わず顔が緩んでしまいます。広い教室に4人の神学生がパラパラと座り、教卓には聖書でなくアクリル板がドンと置かれています（聖書も横に置いていますが）。授業中のマスク着用は徹底しています。食堂も週に二日、テーブル一つに一人。向き合うこともなく黙々と食べ続ける、これはさすがにちよつと味気ないです。それでも毎週顔を合わせて聖書を学べることは大きな喜びです。

ご存知のように今年はいまヌエル教会からの神学生がゼロになってしまいました。神学院の歴史上初めてのことで。こうした傾向はどの神学校でも共通した課題になっていきます。2千年にわたる

教会歴史にも同じような低迷期があったはず（事実ありました）。そこで諦めていたら、今の私たちはいなくなったことになりません。それぞれの時代、状況の違いはあってもそうした難局を乗り越えてきたのです。考えてみると教会歴史以前の旧約聖書にもそうしたことは繰り返されています。エリヤはただ一人残されたと感じました。でも実際はそうではなかった。7千人は当時の人口を考えると相当な人数です。つまり神さまの隠された可能性は半端なものではなかったということです。

一度だけ「とにキャン」会場の聖山キャンプ場に行ったことがあります。弾けるような子どもたちの喜びが溢れていました。YSの、YSBのエネルギータいしたものです。最近ではBUILD、Reがスタートしました。若い人たちの発想も、志向も私たちの理解をはるかに超えて先に行っています。神さまがそうした交わりを祝してくださっています。きつとその中から、イザヤのように応答する人たちが出てくるでしょう。「私

がここにいます」と。あるいはモーセ／エレミヤマインドの人もいるでしょう（私がそうでした）。

いまヌエル生ゼロからのスタートです。でもたくさん種の時ががされてきました。青年たちも良いコミュニケーションを築いて互いに励まし合っています。直接献身する青年たち、それを支える青年たち、どちらも尊い存在です。

同窓生の近況

60期生
 東京FM昭島教会●井上匡朗



「こういうわけで、あなたがたは……何をすするにも、すべて神の栄光を現すためにしなさい。……私も、人々が救われるために、……すべてのことですべての人を喜ばせようと努めているのです。」

（1コリント10・31、33）

主の御名を賛美します。同窓生の近況という事で教報にご報告できることを感謝します。新型コロナウィルスの影響でどの教会も大変だと思えます。昭島教会もネットを用いた伝道の試みを始めました。私個人もいつまで続くかわかりませんがYouTubeチャンネルを始めました。BTC在学中、Mediaと、恩寵の手段(Means of Grace)は、同じ語源であることを知りました。神様はこの世界にあるあらゆるものを、主の栄光のために用いられるのだと感動しました。ネットを用いるにも、週報を印刷するにも、言葉遣い、態度、どのネクタイをするか、全てが主の栄光を表すようにと祈り、心がけたと思います。皆様の全てを通して、神様が栄光を表して下さいようにお祈りしています。

神学院スタッフ…恵みの想起

神学院の森の春風の中で

ペテルハウス管理 赤石桂子

● 昨年のこの欄でナルドの壺を携え、年会には神学院の森でお迎えしたい旨のお証ししました。残念ながらコロナ禍のために異例の年会となり、神学院の森は大きな木々だけが春の風にざわざわと大きな音を奏でております。この春風の中、年会のために大事に携えておりましたナルドの壺を何処に用いたら宜しいのでしょうか。主とたくさんお話をさせていたただく中で次々と大切な用い方を教えてくださいました。ペテルハウスをいつでも使えるように整え、神学生のための給食準備、本館の整え等、用い方は主が教えてくださいます。私は主の用ために壺をいつも満タンにして携えていることの大切さを教えられております。献身者興起の切なるお祈りと共に。

学苑だより



● 新型コロナウイルスの影響が続く中ですが、去る4月6日から2021年度の新学期の授業が始まりました。換気に気を付けながら久し振りの対面授業が行われるようになりました。Zoom授業も並行して行われています。神学生や教師の健康が守られますようお祈りください。

● 食堂は火曜日と木曜日のみ再開しています。

● 職員は通常業務を行っています。が、ボランティアの方々のご奉仕は、安全を考えもう少ししばらくお休みすることにいたしました。

● ペテルハウスは感染拡大防止のため、しばらくの間閉鎖していますが、いつでも再開できるようにしっかりメンテナンスは行っています。

● このような状況ですので、お茶の水教団本部での神学院祈り会は行いません。

サポーターズ

尊いお献げものに心より感謝申し上げます。3月の会計報告をさせていただきます。

3月分支援実状
 [今年度毎月献金目標]
 ￥1,500,000

教会員による「神学院サポート献金」
 ￥638,610
 教会団体による「神学院献金」
 ￥714,345
 合計 ￥1,352,955
 その他の献金（一時・特別）
 ￥212,000

・振替：00230-0-10138

公報

本部通達

「なぜなら主はシオンを建て直しその栄光のうちに現れ、窮した者の祈りを顧み彼らの祈りをながしるにされないからです。このことが後の世代のために書き記され新しく造られる民が主を賛美しますように。」

(詩篇一〇二篇16、18節)

各地でコロナウイルス感染の波が勢いを増す中で、各教会の新年度の歩み出しもなされました。異動からひと月が経過する教会と牧師方をはじめ群れ全体に主の守りがあるようにお祈りいたしました。

夏に向けての各教会、教区の計画も見通しが立たない状況かもしれませんが、主の守りと祝福を期待しながら前進しましょう。

■本部

18日(火) 教団運営委員会
(会議)

(オンライン会議)

〈予定表の訂正〉

教団行事予定表に記載のありました静岡教区青年大会(5月3日)と静岡教区CS教師講習会(7月19日)は中止となりました。お詫びとともに訂正いたします。

4月から第一火曜日は総務局職員が集まることにしています。時間は午後1時から4時までです。それ以外の火曜日は交代で常駐者

1名が午後の同じ時間帯で勤務しています。出版事業部は木曜日の午後1時から4時までです。感染状況によって集まり方については柔軟に対応していきます。

会議室利用については原則としてお断りしています。

本部からの定期郵便物については今のところ再開の予定はありません。

■国内教会局

(会議)

14日(金) 国内教会局委員会
24日(月) 全国主事会議
(オンライン会議)

25日(火) 女性牧師部会
(オンライン会議)

(教区会)

17日(月) 18日(火)

北海道地区

《JEA・JEF関係》

◇JEA総会(掛川)

6月7日~9日

◇JEF総会・福岡大会

6月20日~22日(昨年延期となつた大会です。)

〈月例支援金申請について〉

今年度の教会月例支援金の申請を予定している教会は、申請書を国内教会局までご提出ください。申請書の送り先はイムマヌエル京都伏見教会にお願いいたします。

世界宣教局

春の運営委員会・局員会

5月11日(火)

台湾に派遣される久保光彦師ご一家は、ビザ申請中です。一日も

早くビザが発給されるように、またご一家の渡航の準備のためにお祈りをよろしくお願いいたします。

台湾の平瀬義樹師は、後任の久保師が赴任されるまで台中に残ってくださっています。

退職された富澤師と根廻師、元台湾宣教師の平瀬光世師のお証し動画が教団HPで視聴できます。ぜひご覧ください。

昨年度の宣教コイン献金は合計二、〇一七、八五一円がさざげられました。心から感謝します。今年も教会で、また個人でぜひおかわり下さい。

富澤香姉は狭心症と診断され、4月20日に心臓のバイパス手術を受けてお祈りください。回復のために続けてお祈りください。

IWF関係

▽アンドレア・スワウトアウト宣教師は、5月8日から8月末までの予定でアメリカへ帰国されます。お祈りください。

教育局

局運営委員会

5月11日(火) 13時30分、

Zoom オンライン開催

教育部・生涯学習課

生涯学習課会議

5月27日(木) 午後

Zoom オンライン開催

教育部・信徒教育課

各教会で自由に活用可能な信徒向け聖書講座(無料)を提供中。

内容「使徒の働き」の学び(現在は第5回まで公開中)

講師：岩上敬人師(JEA総主事)

教団公式ホームページの「教育局信徒教育課」にアクセスしてくださると、自由に視聴していただくことができます。

青少年部・青年課

▽Ro(アールイー)(主催・西日本ブロック青年部、共催・中国地区青年部)

日時：5月2日(日) 午後3時~5時

参加費：無料

形態：Zoom オンライン開催

申込方法：教会送付チラシのQRコードを用いて申し込み

テーマ：「REALリアル」

講師：松尾献師(九州地区KGG主事)

青少年部・中高生課

▽とにキャンスタフ・トレーニング・キャンプ

日時：5月16日(日)、23日(日)、30日(日)

Zoomによるオンライン開催

*詳しい内容は4月に教区主事を通して全国教会へメールでご案内いたしました。

青少年部・教会学校課

教会学校課運営委員会

日時：5月6日(木)(Zoomオンライン開催)

新聖書セミナー③eラーニング

*3頁の案内をご参照ください。

5月17日開講(8週間)

「ペトロの手紙第一を読む」

講師：石川学師(小山ナザレン教会牧師)

(noteのマガジン購入によるオンライン開催)

申込：教会配布チラシQRコードを用いて申し込み

牧師・神学生・信徒伝道者には補助があります。*聖書協会共同訳を使用しますが、新改訳2017でも大丈夫です。

(補助申請は野田禎師まで)

《JHA関係》

18日~19日 北海道聖化大会

講師：郷家二三師。会場：札幌新生教会。*YouTubeでの配信も予定。

21日 ジョン・ウェスレーに学ぶ会(大阪) YouTube配信で開催

聖宣神学院

前期教会実習 受け入れ教会に感謝いたします。

石川順兄：東京フリー・メソジスト桜ヶ丘教会

林眞光兄：シオン・キリスト教団蒲田教会

森徳子姉：イムマヌエル中目黒教会

17日は72回目の創立記念日です。創立記念日感謝献金には各教会の実情に合わせてお加わりいただければ感謝です。

春の教師会 13日(木)を予定しています。

神学院祈り会は行いません。

出版事業部

祈りのネットワーク2021の準備が進んでいます。今年もコロナ禍に伴う業務の省略化などの事由で、昨年と同数を無料配布いたします。各教会で積極的にご利用ください。

教報PDFパスワード：3581

新生宣教団 定価 一部110円(税込) 郵便振替 001107133609

発行人 内山 勝 編集者 寺村秀嗣

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇

〇〇〇ビル イムマヌエル綜合伝道団本部

発行所 東京都千代田区神田駿河台一